

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

		施設所管課	都市計画部 公園緑地課
施設名	大石緑地スポーツ村（一部を除く。）		
指定管理者	おおつ協会都市公園グループ（大石）		
指定期間	令和6年4月1日 ～ 令和9年3月31日		
指定管理料	年額0円（令和6年度）（総額0円）		
設置目的	スポーツ、レクリエーション利用の場を提供するとともに、効率的な管理運営を目的とする。		
業務内容	(1) 有料公園施設の使用許可又は不許可を行うこと。 (2) 公園施設を良好な状態に維持管理すること。 (3) 公園の適切な利用管理を行うこと。		

所管課 総合評価	I～IVによる総合評価	総合評価コメント
	B (良好)	広域集客の取り組みとして、県外の施設利用者や社会人チーム、大学等に対して誘致を実施していた。また、利用状況や利用者ニーズに合わせた事業展開により、前年度比において、利用料収入+5,622千円(144.6%)、利用者数+10,822人(126.0%)となったことについては、一定評価できる。一方で、テニスクール及びテニス教室において、1回あたりの参加人数が定員を充足していない状況が見られた。次年度以降については、定員充足に向け、運用方法の見直し等対策を検討されたい。

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
I 実施体制	施設の設置目的の達成 □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B (良好)	地域とともに育むスポーツの拠点づくりとして、安全で快適な環境づくりに努めた。	B (良好)	施設の設置目的を理解し、目的に沿った管理運営を行っていた。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B (良好)	適材適所の配置であり無理のない勤務形態で働きやすい環境づくりに努めた。	B (良好)	事業計画どおりの人員配置であった。また、労働条件等についても、適正であった。
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	消防訓練・個人情報保護・熱中症対策などの研修をその都度行った。	B (良好)	概ね事業計画どおり、施設の管理・運営に必要な研修や消防訓練等を実施していた。
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B (良好)	関係法令、条例等を遵守し適正適切な管理運営を行った。	B (良好)	関係法令等を遵守していた。
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B (良好)	職員が「個人情報保護方針」を遵守し適切に行った。	B (良好)	個人情報の管理体制及び実施体制を定めるとともに、個人情報記載された文書等を、施錠できるロッカーにて適切に管理していた。
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	日々の管理（日報）、点検結果、修繕履歴等を記録し保管した。	B (良好)	業務日誌や点検結果、修繕履歴について、適切に記録、保管していた。
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	市とも密に連絡を取りながら調整を行い、適正な報告書を提出した。	B (良好)	市と指定管理者間の連絡、調整及び報告書等の提出は適切であった。
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	全職員が緊急時の対応を把握しており、定期的に訓練を行うなどマニュアルを徹底した。	B (良好)	指定管理者内危機管理連絡網を管理事務所に掲示し、緊急時には、すぐに関係各所に連絡できる体制を整えていた。また、河川の水位上昇への対応についても、遅滞なく行われていた。
	《I 総括》 業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		B (良好)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ 内容・水準	施設管理 ☐ 開館日、開館時間を遵守していたか。 ☐ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B (良好)	開館日、開館時間を厳守、大会等開館時間が早まる場合は臨機応変に対応。毎日の巡回等で事故等早期発見に努めた。	B (良好)	開館日、開館時間を厳守しており、規模の大きな大会等の開催時には、臨機応変に対応を行っていた。また、定期的な巡回を行うことで、損傷箇所等の早期発見、早期対応に取り組んでいた。
	利用状況 ☐ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	利用者の声の反映、利用促進の方策などにより適正な水準であった。	B (良好)	利用者数については、計画比78.7%と下回る結果となったが、前年度比においては、126.0%と増加していることから、適正な水準であるといえる。
	利用者対応 ☐ 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 ☐ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 ☐ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	対応は迅速に、接遇は適切に行い、設備・備品等の要望にも適切に対応した。	B (良好)	電話対応、窓口対応を含め、利用者対応は、適切であった。また、備品の貸出しについても、適切に実施していた。
	業務運営(全体) ☐ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 ☐ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	事業計画書に沿って計画通りに運営した。キッチンカーによる飲食サービスの拡充、スポーツ用品レンタルなど利用促進に取り組んだ。	B (良好)	概ね事業計画どおりであった。キッチンカーやスポーツ用品レンタルなどの事業により利用促進に取り組んでいた。また、県外利用者の誘致による広域集客にも取り組んでいた。
	自主事業運営 ☐ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 ☐ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 ☐ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 ☐ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B (良好)	自主事業計画書どおりに実施し、アンケートを取り利用者の要望等にてできる限り対応した。	B (良好)	利用状況や利用者ニーズに合わせ未実施となった事業もあったが、概ね事業計画に基づき、実施していた。テニスクラブや教室については、参加者率の低下に課題がある。次年度以降については、参加率の向上に向け、運用方法を検討された。
	維持管理 ☐ 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 ☐ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 ☐ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 ☐ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 ☐ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	事業計画書、業務仕様書に基づき実施、保守管理も、計画的に実施。修繕についても適切に行い、植栽管理も定期的に行った。	B (良好)	施設の保守管理については、適宜実施していた。植栽管理や施設の整備については、生育状況や利用状況にあわせ、随時対応していた。
	情報提供 ☐ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 ☐ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	施設内にパンフレットスタンドを設け、事業の開催案内等情報を発信、ホームページも定期的に更新を行い、情報発信に努めた。	B (良好)	ホームページについては、適宜更新を行い、抽選案内やテニスクラブの案内などの情報発信を行っていた。また、SNSを活用した情報発信にも注力していた。
	環境配慮 ☐ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	消耗品使用の削減、こまめな消灯等で省エネ・CO2削減に努めた。	B (良好)	必要最低限の電気使用に努め、コピー用紙の裏紙を利用するなど、省エネ等環境への配慮に努めていた。
	ユニバーサルデザイン等への配慮 ☐ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対しての合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	プライバシーの配慮も考え、対応できる場所を設けるなど環境を整え、意思疎通しやすい方法を取り入れながら個人に合わせて柔軟に対応するよう努めた。	B (良好)	窓口への耳マークの掲示や対応スペースを確保するとともに、障害者対応に関して職員間でミーティングを行うなど、誰もが気軽に相談できる環境を整えていた。
	意見・要望・苦情 ☐ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 ☐ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	要望、苦情等には迅速な対応で取り組み、可能な限り管理運営に反映した。	B (良好)	利用者からの要望については、施設の窓口や電話にて受付を行っており、内容に応じて適宜対応していた。
	利用者アンケート ☐ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	定期的にアンケートを取り利用者の要望等にてできる限り応えられるよう努めた。	B (良好)	定期的にアンケートを実施し、アンケート結果から管理運営及び事業の内容に反映できるよう努めていた。
【Ⅱ総括】 業務の内容・水準に関する評価【標準11項目／当施設11項目】			B (良好)		B (良好)	
Ⅲ 収支等	経理事務 ☐ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 ☐ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 ☐ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B (良好)	料金徴収、減免等トリプルチェックを実施し、適切に処理した。つり銭等現金も適切に管理した。	B (良好)	指定管理者内の経理指導の下、帳簿記帳・つり銭管理・収入の入金などの経理執行を、適切に行っていた。
	収支状況 ☐ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入―支出はプラスとなっているか。 ☐ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	計画書比、利用料金及び自主事業の合計収入は22%減、合計支出は17%増であり、収入支出計はマイナスとなった。	B (良好)	次年度の国スポーツ大会開催に伴う施設の修繕・整備等により、支出は前年度比120.4%となったが、利用料収入においては、前年度比144.6%と増加しており、概ね適正な水準であるといえる。
	経費節減の取組 ☐ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 ☐ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B (良好)	節電や節水をはじめ、簡易な修繕等はなるべく直営での作業で対応し経費節減に取り組んだ。	B (良好)	節電や節水等の取り組みや、簡易な修繕・作業については、直営にて対応することで、経費の節減に取り組んでいた。また、第三者委託についても、適切であった。
	【Ⅲ総括】 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設3項目】		B (良好)		B (良好)	
Ⅳ その他 (他独)	その他 ☐ 努力事項として掲げた広域集客の取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	広域集客増加の取り組みに努めた。	B (良好)	広域集客の取り組みとして、社会人や大学チームを対象に、情報発信を行うなど、県外利用者の誘致の取り組みを実施していた。
	【Ⅳ総括】 その他に関する評価【当施設1項目】		B (良好)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

主な成果 (全体)	使用料(利用料)	目標	25,550,000 円	⇒	実績	17,686,026 円
	稼働率	目標	33.3 %	⇒	実績	27.7 %
	利用者数	目標	66,630 人	⇒	実績	52,460 人
	【指定管理者コメント】					3030
	【施設所管課コメント】					

施設の利用促進に取り組んだことにより、前年度比において、施設使用料は144.6%、利用者数は126.0%とどちらも大幅に増加していることは一定の評価ができる。また、国スポ及び当課と協議の上、必要な施設の修繕及び各種調整を実施していた。次年度についても、国スポ本大会の開催に向け、計画的に施設修繕を実施するとともに、利用者数のさらなる増加に向け利用促進に取り組まれたい。

自主事業 実施による 成果	＜主な自主事業の実施状況＞				
	事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況 (実施・追加・未実施)	特記事項(「未実施」の場合はその理由)
	テニス教室	自主事業	初級・中級者向けの基本習得コース	実施	
	テニスクール	自主事業	中級者向けのレベルアップコース	実施	
	スポーツ用品レンタル・販売	自主事業	利用者の利便性向上のために実施	実施	
	自動販売機	自主事業	熱中症対策・利便性向上のための飲料水販売	実施	
	キッチンカー	自主事業	軽食や飲み物の販売	実施	5月から11月頃までの実施
	【指定管理者コメント】				
	テニス教室・テニススクールの受講生数は、昨年度よりも増加したが、その都度の支払いなので欠席されることも多く、必ず参加してもらえる方や方法などを今後、工夫する。				
	【施設所管課コメント】				

テニス教室及びテニススクールについて、受講者数は増加したが、当日の欠席により延べ参加人数は減少傾向となっている。次年度以降については、参加率の向上に向け対策を講じるとともに、利用者ニーズに合わせた事業展開を検討されたい。

課題及び 課題解決 の結果	【指定管理者コメント】
	簡易な修繕や作業は直営にて対応する等支出削減に努めたが、物価上昇・人件費の高騰による影響や、次年度9月から始まる国スポ本大会に向け計画より前倒して施設修繕等を実施したことにより、支出の増加が見られた。また、経年劣化による施設の老朽化・破損が進んでおり、指定管理者で対応できない大規模な修繕を含め対応策を大津市と協議していきたい。

【施設所管課コメント】	
次年度に開催される国スポ本大会に向け、必要な施設の修繕については、計画的に実施されたい。また、指定管理者にて実施困難な改修工事等を含め、施設の今後の改修計画等は市と協議の上、対応を検討されたい。	
自主事業においては、テニス教室の参加率改善に向け、対策を検討するとともに、施設の利用促進に向けた事業展開を検討されたい。	

特記事項等	
-------	--

※評価基準:項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準(A～D)は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

指定管理者自己評価

提出

所管課評価

通知

指定管理者

送付

行政改革推進課(ホームページ等により結果公表)